

問1 ろ過という方法を使って、液体と固体に分けることができるのは、どのようなものですか。

問2 物質が水にすべて溶けて、全体が一様にすき通った液体のことを何といいますか。

問3 水溶液を冷やすことで固体として取り出すことができるのは、どのような性質がある物質ですか。

問4 水平でしっかりした台の上に置き、皿に何も載せないときに針が左右に同じ幅で振れるように調節して、ものの重さをはかる道具は何ですか。

問5 ホウ酸を限界まで溶かした水溶液を冷やすと、ホウ酸が粒となって出てくるのはなぜですか。

問6 水に溶けている物質を取り出したときに見られる、物質の種類によって決まっている規則正しい形を何といいますか。

問7 水に食塩をこれ以上溶けないところまで溶かしました。この水溶液を温めて温度を高くしたとき、食塩はさらにたくさん溶けますか。

問8 水に溶けていない粒と水を分けるために使う、目に見えない小さな穴がたくさん開いている紙の名前は何ですか。

問9 液体の体積を正確にはかるために使う、目盛りのついた細長い器具は何ですか。

問10 電子てんびんを使ってものの重さを正しくはかるとき、何も載せていないときの表示を何gに合わせますか。

問11 水に溶けている食塩のように、温度が変わっても溶ける量がほとんど変わらないものを、固体として取り出すにはどのような方法を使えばよいですか。

問12 水50gに食塩が最大で18gとけると、水の量を100gに増やすと、食塩は最大で何gとけますか。

問13 水の温度を高くしたときに、水にとける量が非常に大きく増える特徴をもつ物質はどれですか。

問14 理科の実験で、液体をかき混ぜたり、ろ過をするときに液を伝わらせて静かに注いだりするために使う道具は何ですか。

問15 ろ過したあとの液（ろ液）に、温度を変えずに同じ物質をさらに加えると、その物質はどうなりますか。

問16 分銅をあつかうとき、手で直接さわらずにピンセットを使って持たなければならないのはなぜですか。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 液に溶けていない粒が混ざっているもの	ろ過は、液に溶けていない粒をろ紙でこし分ける方法なので、液に溶けていない粒が混ざっているものを分けることができます。
問2	答え 水溶液	物質が水にすべて溶けて、全体が一樣にすき通った液体のことを水溶液といいます。
問3	答え 温度が下がると溶ける量が大きく減る性質	ホウ酸やミョウバンのように、温度が下がると水に溶ける量が大きく減る性質を持つ物質は、水溶液を冷やすことで固体として取り出すことができます。
問4	答え 上皿てんびん	水平でしっかりした台の上で使い、皿に何も載せないときに針が左右同じ幅で振れるように調節して使う道具は、上皿てんびんです。
問5	答え 温度が下がった分だけ、ホウ酸が水に溶けきれなくなるから。	水溶液の温度が下がると、温度が下がった分だけ溶けきれなくなったホウ酸が粒となって出てきます。
問6	答え 結晶の形	水に溶けている物質を再び取り出したときに見られる、規則正しい特徴的な形のことを「結晶の形」といいます。
問7	答え 温度が高くなっても溶ける量はほとんど変わらないので、さらにたくさん溶けることはない。	食塩は水の温度が高くなっても溶ける量がほとんど変わらないため、温めてもさらにたくさん溶けることはありません。
問8	答え ろ紙	水に溶けていない粒を通さず、水だけを通すための小さな穴がたくさん開いている紙を「ろ紙」といいます。
問9	答え メスシリンダー	液体の体積を正確にはかるために使う器具はメスシリンダーです。
問10	答え 0g	電子てんびんを使うときは、正しく重さをはかるために、何も載せていないときの表示を「0g」にします。
問11	答え 水を蒸発させる	温度が変わっても溶ける量がほとんど変わらない食塩などは、水を蒸発させることで固体として取り出すことができます。
問12	答え 36g	水の量が50gから100gへと2倍に増えているため、とける食塩の量も18gの2倍である36gになります。
問13	答え ミョウバン	ミョウバンは温度が高くなるととける量が非常に大きく増えます。食塩は温度が高くなってもとける量はあまり変わりません。
問14	答え ガラス棒	液体をかき混ぜたり、ろ過のときに液を伝わらせて静かに注いだりするために使う棒をガラス棒といいます。
問15	答え まったく溶けない	ろ過したあとのろ液には、すでに物質が溶ける限度の量まで溶けているため、温度を変えずに同じ物質をさらに加えても溶けません。
問16	答え 手のあぶら（皮脂）などがついて、重さが変わるのを防ぐため	手で直接さわると皮脂（あぶら）などがついて重さが変わってしまうため、必ずピンセットを使って持ちます。